

認知症地域支援 推進員だより ~第5号~

発行 令和4年8月

発行者 添田・西本



真夏の日差しが照りつける中、ヒマワリは元気に空に向かって咲いています。夏の疲れが出やすい時期となりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。さて、9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。この日を中心に、「認知症になっても安心して暮らせる社会」を目指して、全国各地で、いろいろな取り組みが行われています。そこで、認知症に対する正しい理解を深めるための伊佐市の認知症に関する取り組みを紹介したいと思います。

★菱刈小学校に認知症サポーターが誕生★

6月1日(水)菱刈小学校5年生18名を対象に認知症サポーター養成講座を開催しました。今回のキャラバンメイト(講師役)は、始良市にある「共生ホームよかあんべ」の荳口さん。

『おじいちゃんは人気者』という認知症のおじいちゃんとお話をもとに、生徒さんがそれぞれの役になりきって寸劇を行い、おじいちゃんの気持ちを考えました。

「ある日、勝手に家を出て行ったおじいちゃんが、お父さんに怒られてとても悲しそうだった」という場面を振り返り、家を出て行く時や、お父さんに怒られた時のおじいちゃんの気持ちに思いを巡らせました。生徒さんからは、「家にいることが、分からなくなったから出て行ったんじゃないか」「認知症が嫌で出て行ったのでは」「家族の役に立ちたくて出て行ったのではないか」と色々な意見が出ました。

初めは「認知症になると大変そう!」「怖い」「なりたくない」といったイメージでしたが、おじいちゃんの気持ちを考えるを通して認知症の人の思いに寄り添うことの大切さを感じているようでした。



認知症の人に対して周囲は「何も分からなくなる」と決めつけてしまいがちです。しかし、認知症の人は何も分からなくなるのではなく、嬉しい、悲しい、怖いなどの感情は長く心に残り、自分の変化に一番に戸惑い、不安を感じています。そうした不安や、つらさに寄り添うことの大切さを改めて学んだ講座でした。



オレンジフラワープロジェクト

～花で認知症の人とその家族を応援～



あたたかさを感じさせるオレンジ色は認知症を応援するシンボルカラーです。

9月のアルツハイマー月間に合わせてオレンジに咲くマリーゴールドを大口・菱刈庁舎に植えました。マリーゴールドの花を育てることを通して、多くの人々が認知症に対する理解を深め、地域で支え合う気持ちを共有できたらと思います。



9月21日 世界アルツハイマーデー

～認知症になっても安心して暮らせる社会を～

鹿児島県では世界アルツハイマーデーの9/21を含む日曜日から土曜日までの1週間を「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」として認知症に対する正しい知識と理解を深めるための普及・啓発活動に取り組んでいます。

山野で1日限定 認知症カフェ

場所：ミニストアー山野「楽しそう」
伊佐市大口山野 5167 (旧三浦医院)

時間：13時～15時

内容：健康体操、介護相談（血压測定）
講話「認知症予防と口腔ケア」
～口腔ケアで認知症は予防できる？～

☆参加費無料、どなたでも
お越しください



オレンジのライトアップで つながる支援の輪

今年も県民週間の期間に合わせて、まごし館の駐車場前を認知症支援のシンボルカラーであるオレンジ色にライトアップします。オレンジの灯りを眺めながら、多くの方が認知症をより身近に感じてもらえたらと思います。

図書館の特設展示

大口・菱刈の図書館で認知症に関する書籍を集めて展示します。

9月3日(土)～9月30日(金)

お気軽にお越しください。

